

「第 25 回大本青年祭」について

開催要項

- 名 称 第 25 回大本青年祭
- 目 的 大神さまのご守護と教主さまのご教導のもと、日ごろ研鑽した成果を大神さまの御前に奉納させていただき、全国に友情の輪を広げ、みろくの世実現に向けて世界平和のひな型を築くことを目的とします。
- 期 間 平成 30 年 8 月 13 日（月） 14 日（火） 15 日（水）の 3 日間
- 会 場 亀岡市天恩郷
- 参加費 7,000 円
- 主な行事 開催奉告祭、開会式、各種奉納行事、夜間行事、研修、閉会式など
- 参加資格 大本青年部員及び中学 3 年生（今回に限り）、信徒・未信徒を問わない
- 参加目標数 250 人
- テーマ 躍進
- 出場機関 機関ごとの出場を基本とするが、単独にて団体出場できない機関に限り、機関合同での出場を認める。ただし、大本青年部事務局に要相談（6 月末日まで）。また、教区内での合同出場が望ましい
なお、奉納のみの合同出場は今まで通りとする
- 表彰制度 奉納行事出場者には、事後の研修活動を奨励するために表彰を行う。各種奉納種目ごとに審査の上、入賞者に表彰状と記念品を贈る。また、必要に応じて特別賞を設ける
- 申し込み 参加ご希望の方は、所属する青年部へお申し込みください。なお、各種申込用紙は、大本青年部ホームページ（<http://www.oomotoseinenbu.jp/>）からダウンロードできるようにします（平成 30 年 5 月以降）。
なお、地方機関で青年部の組織されていない機関については大本青年部事務局に直接お申し込みください

開催奉告祭について

「第 25 回大本青年祭」開催奉告祭の祭員は、各教区代表の青年部員が奉仕する

斎主、中里 洋 大本青年部長のもと配役は以下の通り

神饌長、祓主、膳部、大麻司、祝詞後取、玉串後取 1、玉串後取 2、玉串後取 3、玉串案後取 1、玉串案後取 2、玉串案後取 3、円座後取

典礼：本部職員

伶人：地方青年 6 名と本部祭典出仕者 6 名の 12 名（地方青年の選出は本部一任）

配役は原則として年齢順とする。なお、祭員は大本祭式 3 級以上取得者、または日頃より月次祭などに奉仕している青年が望ましい

また、祭員は 8 月 12 日午後 7 時より万祥殿にて開催奉告祭りハーサルを行う。祭員・伶人の片道交通費は本部から支給する。必ず領収証を持参し、大本青年部事務局に提出すること

「第 25 回大本青年祭」

開催奉告祭次第

- 一、伶人入殿
- 一、祭員入殿
- 一、祓式行事（修祓）
- 一、斎主拝礼
- 一、献饌
- 一、開催奉告祭祝詞奏上
- 一、玉串捧奠
- 一、天津祝詞奏上
- 一、大本青年祭奏上神歌斉唱
- 一、祭員退殿
- 一、伶人退殿

教区名	機関名	氏名
北海教区	北海本苑	
東北教区		
関東教区		
北陸教区		
東海教区		
近畿第1教区		
近畿第2教区		
山陰教区		
山陽教区		
四国教区		
北九州教区		
南九州教区		

プログラム

	8月13日(月)	8月14日(火)	8月15日(水)			
6		起床・洗面・清掃	起床・洗面・清掃			
7		朝拝・巡拝・朝食				
8		愛善歌	神劇	神書役割拝読		
9	特別プログラム 「信仰のルーツ」					
10	開催奉告祭					
11	開会式		総合表彰式・閉会式			
12	昼食	昼食	昼食(弁当)			
1	神書個人拝読	朗詠	模擬祭典	神書役割拝読		
2					夏期学級模擬講話	その他の奉納種目 文芸展示 (書道・絵画・写真・工芸) 浄書・冠沓句 ご神書拝読
3					大本と私	
4						
5						
6	夕拝(遥拝) 種目別表彰式 夕食	夕拝(遥拝) 種目別表彰式 夕食	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 期間中は 「ほっこりカフェ」 (乳幼児休憩所) を開催します 14日午後 「少年茶席～Lumo」 を開催します </div>			
7		夜間プログラム 大本の魅力 みろく踊り大会 愛善踊り				
8	遮二無二なせよ！青年部魂 スタンプ大会					
9	明日の打ち合わせ	明日の打ち合わせ				
10	就寝	就寝				

※プログラムは都合により変更する場合があります。

団体奉納種目

1 「模擬祭典」

「6人以上の部」「3人以上5人以下の部」のいずれかから1地区から1組までとする

(1) 模擬祭典6人以上の部

課 題 月次祭（祓式行事と本祭の模擬）

- 1、祝詞は最初と最後を奉唱する
- 2、ご神号奉唱はせず「惟神霊幸倍ませ（かむながらたまちはへませ）」のみとする
- 3、「讚美歌斉唱」は省略する
- 4、「玉串捧奠」は斎主のみとする

伶 人 有無を問わない。審査対象外とする。本部では八雲琴音源一式を準備する

典 礼 有無を問わない

服 装 各自で白衣、青袴（女性も原則として青袴を着用）、足袋、笏を持参すること

出場者制限 1組6人以上、（典礼と司会は含まない）。1地区から1組までとする

司 会 有り（年齢は問わない）

祭 具 本部で模擬祭典用祭具を準備する

審査基準 基本動作・正中動作・献饌・後取動作・祝詞展卷奏上・玉串捧奠・姿勢・調和など

その他 献饌の三方は5台とする

奉納前に各機関神饌物の盛り付けを行う（審査対象外）

大神・祓戸の八足は左右どちらにおいても可とする

(2) 模擬祭典3人以上5人以下の部

課 題 「模擬祭典6人以上の部」に同じ

伶 人 「模擬祭典6人以上の部」に同じ

典 礼 「模擬祭典6人以上の部」に同じ

服 装 「模擬祭典6人以上の部」に同じ

出場者制限 1組3人以上5人以下（典礼と司会は含まない）。1地区から1組までとする

司 会 「模擬祭典6人以上の部」に同じ

- 祭具 「模擬祭典6人以上の部」に同じ
- 審査基準 「模擬祭典6人以上の部」に同じ
- その他 献饌の三方は5台とする
奉納前に各機関神饌物の盛り付けを行う（審査対象外）
3・4人の場合の神饌物・祓戸の位置は、次ページを参照
5人の場合は大神・祓戸の八足は左右どちらにおいても可とする
円座後取は省いても良い

模擬祭典次第

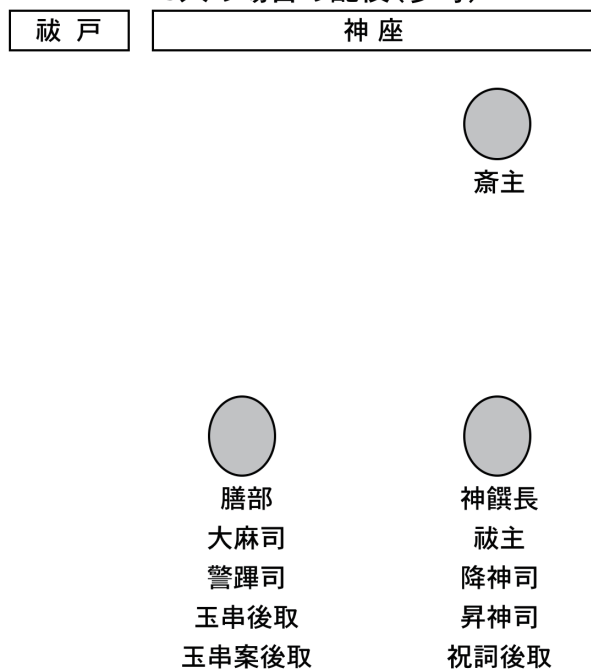
（伶人入場）

- 一、祭員入場
- 一、祓式行事 修祓
- 一、齋主拝礼
- 一、献饌
- 一、齋主「月次祭祝詞」奏上
- 一、玉串捧奠
- 一、惟神霊幸倍ませ
- 一、祭員退場

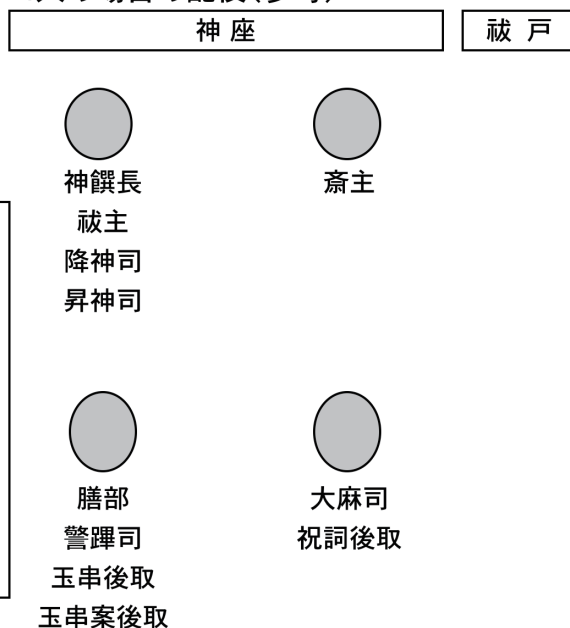
（伶人退場）

模擬祭典配役表

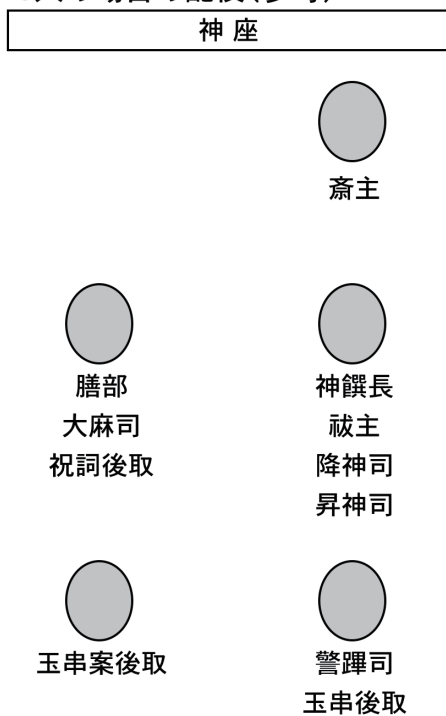
3人の場合の配役(参考)



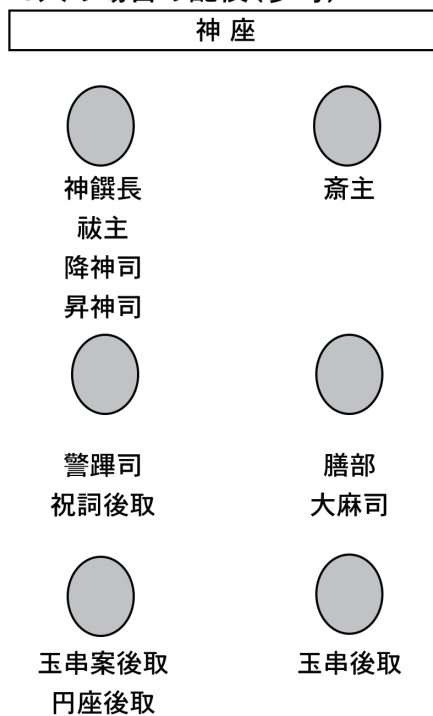
4人の場合の配役(参考)



5人の場合の配役(参考)



6人の場合の配役(参考)



2 「神書役割拝読」

神書規定	『靈界物語』（修補版を使用のこと）
拝読時間	1組 15分以内（入退場を含む）
出場者制限	1組 3人以上、1地区から1組までとする
拝読箇所	大本青年部事務局より「好適箇所一覧」を案内する
審査基準	声調・声量・姿勢・調和など
その他	拝読箇所の要約を奉納前に1～2分程度説明すること 配役の名前（張り紙）は各機関で事前に準備すること 本部で見台を準備する

3 「朗詠」

朗詠歌規定	八雲神歌と歴代教主・教主補さま、教主さま（歌祭で詠まれたものに限る） の道歌から2首の合わせて3首。1首を2回繰り返すこと
出場者制限	1組 2人以上、1地区から1組までとする
審査基準	声量・声調・調子・姿勢・調和など
その他	服装は自由とする 拍子盤を使用すること（本部より拍子盤と張り扇2本を貸与 ^{たいよ} します） 張り扇は1本で打っても可とする <u>団体として出場できない場合に限り、個人での出場を可とする。</u> また、その 場合、規定は団体での規定に準ずるが、審査は行わず一律の出場得点とする

4 「愛善歌」

曲	愛善歌から任意で一曲を選択すること
奉納形態	自由（伴奏の有無を含む）
出場者制限	1組 2人以上、1地区から1組までとする
審査基準	発声・歌唱力・調和・演出など
本部で準備する楽器	電子ピアノ
その他	服装は自由とする 伴奏者は、希望があれば本部で準備する（6月末までに申込み） <u>団体として出場できない場合に限り、個人での出場を可とする。</u> また、その 場合、規定は団体での規定に準ずるが、審査は行わず一律の出場得点とする

5 「神劇」

台本規定	『靈界物語』『ぼたえもん童話集』を基本とする。左記以外のご神書で奉納を
------	-------------------------------------

希望する場合は事前に大本青年部事務局まで要相談

- 時 間 20分以内（入退場、準備、撤収含む）
- 出場者制限 1組4人以上、1地区から1組までとする
- 審査基準 構成、演出、発声、調和、原書の主旨の伝わりやすさなど
- その他 音源は各機関で持参すること
- リハーサルの時間は設けない。音響、照明の打ち合わせは行う

6 「文芸展示・工芸の部（団体）」

- 出品規定 1地区につき1点。「第25回大本青年祭」に出品するために制作したものに
限る
- その他 審査は行わない

個人奉納種目

1 「神書個人拝読」

- 拝読書の規定 大本神書・教書〔『おほもとしんゆ』『いつのめしんゆ』『霊界物語』『おさな
がたり』『私の手帖』『生きがいの探求・創造・確信』など〕 ※文庫版も可
※霊界物語は修補版を、大本神書・教書は昭和57年以降に発行されたもの
を使用すること
- 拝読時間 5分を基準として10分以内（入退場を含む）
- 出場者制限 1地区から4人以内とする。「夏期学級模擬講話」「大本と私」に出場しない
者に限る
- 拝読箇所 拝読する「書名・巻・章・小見出し」を申込用紙に明記のこと
- 審査基準 声調・声量・姿勢など

2 「夏期学級模擬講話」

- 奉納内容 夏期学級時に行う参加者を対象とした模擬講話。発表する「講題」と「対象年齢」
を申込用紙に明記のこと
- 発表時間 15分以上20分以内（入退場を含む）
- 出場部門 未成年の部（中学3年生以上19歳以下）・成人の部（20歳以上）を設ける
- 出場者制限 未成年の部・成人の部のそれぞれ1地区に2人までとする。「神書個人拝読」「大
本と私」に出場しない者に限る
- 審査基準 講話の構成、話し方、み教えの理解度、伝わりやすさなど
- 奉納方法 演台の前に入場。審査員を対象者と見なして行う。原稿を使用するかについ
ては奉納者一任

その他 本部は、黒板、またはホワイトボードを準備する
見学者用の資料の有無は奉納者一任。但し、配付資料は各自持参のこと
公平な奉納環境となるよう、ギャラリー（見学者）の発言は禁止とする

3 「大本と私」

奉納内容 信仰生活やご神書、大本青年部活動の中で感銘を受けた事と心境の変化などを発表。「発表内容のタイトル」を申込用紙に明記のこと
発表時間 5分を基準として10分以内（入退場を含む）
出場部門 未成年の部（中学3年生以上19歳以下）・成人の部（20歳以上）を設ける
出場者制限 未成年の部・成人の部それぞれ1地区に2人までとする。「神書個人拝読」「夏期学級模擬講話」に出場しない者に限る
審査基準 審査員一任
奉納方法 演台の前に入場。タイトル発声後、奉納をはじめる。原稿を使用するかについては奉納者一任。奉納は、審査員や見学者の感情に働きかけるようにする

4 「文芸展示」

出品部門 書道・絵画・写真・工芸の4部門
出品規定 1部門につき1人1点。「第25回大本青年祭」に出品するために制作したものに限る
審査基準 審査員一任。「金」「銀」「銅」の各賞を設ける
書道の部 【お題】第129回全国青年部長会議で発表する
【規定】半紙、または半切紙を使用し書体は自由とする
絵画の部 【テーマ】「第25回大本青年祭」にふさわしいもの
【規定】水彩画・油絵・版画・切り絵
写真の部 【テーマ】第129回全国青年部長会議で発表する
【規定】黒白・カラープリント。サイズは自由。ただし、2L（127×178）以上の大きさとする。1人1点（オリジナルのもの）
工芸の部 【テーマ】「第25回大本青年祭」にふさわしいもの
【規定】特になし

5 「浄書」

規定 『おほもとしんゆ』の中から10ページ以上を半紙に浄書したものとする
半紙（天声社販売の浄書用紙でも可）に毛筆書きとする
表紙には、所属機関名と名前を明記すること
締め切り 「第25回大本青年祭」開催前日までに持参するか送付すること。なお、浄書

は「第25回大本青年祭」開催奉告祭時に万祥殿ご神前にお供えさせていただきます

6 「冠沓句」

冠沓句題 第129回全国青年部長会議で発表する

応募規定 1人2句まで。規定の冠沓句申し込み用紙に記入して郵送のこと

審査基準 審査員に一任。「天」「地」「人」「軸」の各位を設ける

7 「ご神書拝読」

規定 『おほもとしんゆ』全巻を拝読した人。拝読は音読に限る

期間 第128回全国青年部長会議翌日（平成29年11月27日）から「第25回大本青年祭」開催前日（平成30年8月12日）まで

締め切り 大本青年部指定の「ご神書拝読日誌・報告書」を「第25回大本青年祭」開催前日までに持参するか送付すること。なお、「ご神書拝読日誌・報告書」は「第25回大本青年祭」開催奉告祭時に万祥殿ご神前にお供えさせていただきます

奉納行事得点表

奉納行事	1位	2位	3位	4位	5位	6位	出場得点
模擬祭典6人以上	175	160	145	130	115	100	75
模擬祭典3人以上	150	135	120	105	90	75	50
朗詠	150	135	120	105	90	75	50
愛善歌	150	135	120	105	90	75	50
神劇	150	135	120	105	90	75	50
神書個人拝読	100	90	80	70	60	50	20
神書役割拝読	150	135	120	105	90	75	50
夏期学級模擬講話	130	115	100	70			
朗詠（個人）	一律50						
愛善歌（個人）	一律50						
大本と私	130	115	100	70			
浄書	一律15						
ご神書拝読	一律15						

文芸展示	金	銀	銅
書道	80	60	40
写真	80	60	40
工芸	80	60	40
[団体]工芸	一律40		
絵画	80	60	40

冠沓句	天	地	人	軸
	60	45	30	15

スタンプ大会	出場得点
	一律50

信仰のルーツ	信仰履歴書	奉納原稿
	一律10	一律5

※奉納原稿のみ提出の場合は加点されません

少年・幼児向けのプログラムについて

青松会員・少年部員の参加者を増やし、活気ある青年祭を目指し、青年祭中に下記の行事を行います。

「ほっこりカフェ」（乳幼児休憩所）

期 間 平成30年8月13日（月）14日（火）15日（水）の3日間（青年祭開催中）

場 所 みろく会館3階ラウンジ（予定）

内 容 乳幼児が休憩し遊ぶ場所、保護者の交流の場としても活用

「少年茶席～Lumo」

開催期間 【茶席】平成30年8月14日（火） 正午～16:00（予定）

【稽古】平成30年8月14日（火） 9:00～11:00頃（予定）

場 所 みろく会館1階（予定）

参加資格 小学3年生から中学2年生

参加費 なし（宿泊・食事代は実費個人負担）

内 容 お茶・お菓子のお運びの稽古を行い、お茶席にてお運びを行う

申込方法 後日、機関長・青松会長・青年部長宛に発送する申込用紙に必要事項を記載し、青年祭事務局に送付・FAX等をする

集 合 8月14日 8:30 みろく会館青年祭事務局前

持 ち 物 茶道具・着物一式（あれば）・ぞうり（着物の場合）（予定）

※着物をお持ちでない場合は、正装（制服や白シャツなど）で結構です

地域別参加得点とボーナス点

青年祭当日の参加者が一人でもあった機関には下記の得点が与えられる。また青年祭参加者数が、前回（平成28年度青年祭時）の青年参加者数を超えた場合、ボーナス点（1名につき50点）が与えられる。

機関名	参加得点	参加者数	機関名	参加得点	参加者数
北海本苑	250	6	青森主会	200	
山形・秋田主会	200		岩手主会	200	
宮城分苑	200	3	福島主会	200	
群馬主会	150		栃木主会	150	
茨城主会	150	5	埼玉主会	150	
千葉主会	150		山梨主会	150	
東京主会	150	8	神奈川主会	150	6
新潟分苑	150		富山主会	100	
北陸本苑	100	8	静岡分苑	100	2
三河本苑	100	2	名古屋分苑	100	
長野主会	100	3	岐阜主会	100	
三重主会	100	1	松香分苑	100	2
近江本苑	50	4	京都本苑	50	3
口丹波本苑	50	24	三丹主会	50	
綾部みろく分苑	50		宮垣分苑	50	
大阪本苑	50	6	神戸本苑	50	19
はりま本苑	50	12	奈良主会	50	3
紀伊本苑	100	15	鳥取本苑	100	4
出雲本苑	100	12	伯耆分苑	100	
岡山本苑	100	5	福山分苑	100	2
広島本苑	100		長周分苑	150	2
香川分苑	150		徳島主会	150	
愛媛本苑	150	2	高知分苑	150	
筑紫本苑	200	7	大分主会	200	1
佐賀主会	200		長崎分苑	200	
五島分苑	200		壱岐主会	200	
対馬主会	200		熊本本苑	200	5
宮崎分苑	200		鹿児島分苑	200	
種子島分苑	250		奄美分苑	250	
琉球主会	250				